



2022年11月20日発行

拝啓

肌寒い季節となってまいりました。皆様はいかがお過ごしですか。外に出るのも億劫になる、そんな寒い日にはお家で温かい飲み物と読書を楽しむのはいかがでしょう。

家でゆったりと読書に浸る、きっと実りのある時間となるに違いありません。素敵なお本との出会いが皆様に訪れますように。

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2022年12月～2023年1月カレンダー

LiLian Special Info.

激推し！一味違うミステリー小説

今月の一冊

『退出ゲーム』

LiLian Interview

桑原牧子先生（文学部外国語コミュニケーション学科）



# 2022年12月～2023年1月 カレンダー

12月

◎ 8：30～20：00

○ 9：00～16：30

日	月	火	水	木	金	土
				1 ○	2 ○	3 ○
4 休館	5 ○	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○
11 休館	12 ○	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○
18 休館	19 ○	20 ○	21 ○	22 ○	23 ○	24 休館
25 休館	26 休館	27 休館	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館

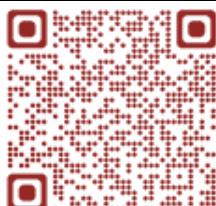
1月

◎ 8：30～20：00

○ 9：00～16：30

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5 ○	6 ○	7 ○
8 休館	9 休館	10 ○	11 ○	12 ○	13 ○	14 ○
15 休館	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ○	21 ○
22 休館	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○	28 ○
29 休館	30 ○	31 ○				

最新情報はHPを  
ご確認下さい →



# LiLian Special Info.

## ♪ 激推し！一味違うミステリー小説 ♪

すきま時間にも手軽に読める小説をお探しではないでしょうか？  
今回は電車や空きコマでさらっと読めるミステリー・ホラー小説を紹介  
します♪

### 『変な家』『変な絵』 雨穴／著

(『変な家』請求記号：913.6/U587 『変な絵』只今準備中)

皆さんは「雨穴」という方をご存知でしょうか？  
主にYouTubeで活躍しているホラー作家さんです。しかし、その素性は  
誰も知りません。出版社でさえ知りえません。  
雨穴さんは10月20日に『変な絵』という新作のホラーミステリー小説  
を書き下ろしました。前作には『変な家』という小説も出しています。  
小説の進み方は会話がほとんどで、まるでネット小説のようです。  
そのため、臨場感があります。  
この二冊は普段あまり本を読まない方にもおすすめです。

### 『楽園とは探偵の不在なり』 斜線堂有紀／著 (只今準備中)

「2人以上殺した者は“天使”に依って地獄に墮とされる」  
そんな世界で起きるはずのない連続殺人事件。  
こちらはSFミステリー小説です。特殊設定の天使  
や地獄などというファンタジーとミステリーが絶妙  
にマッチしています。  
新感覚の面白さを求めている方におすすめです。



(さくら)

\* \* \* 今月の一冊 \* \* \*

『退出ゲーム』 初野晴／著

請求記号

913.6
H425

閲覧室2F（読書コーナー）

清水南高校吹奏楽部に所属しているチカとハルタ。幼馴染である二人は、  
とある目標をかなえるための仲間でもある。それは吹奏楽部顧問の草壁  
先生を全国大会の会場である「普門館」に連れていくこと。様々な事件  
に巻き込まれながら部活や青春を謳歌する青春ミステリー作品。  
頭脳明晰なハルタと運動神経が良いチカがどのように難事件を解決する  
のかが面白い作品です。個性豊かな仲間たちがたくさん登場し、物語の  
いいスパイスとなっています。皆さんも2人と一緒に推理をしながら  
読んでみてください。

（ゆうな）





## 文学部 外国語コミュニケーション学科

### 桑原牧子 先生



#### 1. どのような研究をされていますか？また、専門領域を選んだきっかけは何ですか？

フランス領ポリネシアを専門として、文化人類学を研究しています。長年ポリネシアのタトゥーについて調べています。他にはトランジエンダーやフランスの核実験などについても調査しています。

国内では、沖縄空手と義肢装具の研究を始めました。

専門領域を選んだきっかけは、オーストラリアの大学院で修士論文を書くことになったことです。

旅行先のタヒチから帰ってきた後にタトゥーの良い文献を見つけて、そのまま論文のテーマになりました。博士論文を書く際には実際にフィールドに出て研究していました。



#### 2. 学生時代に心に残った思い出を教えてください。

大学の近くに下宿していて隣も友人の部屋だったので、溜まり場になっていました。他の友達もよく遊びに来て朝まで話しました。内容は将来の夢についてとか…色々な話をしました。大学は時間もあったし、色々なことが楽しかったですね。サークルをきっかけに長く付き合える友人ができたことも良かったです。

### 3. フィールドワークで印象に残ったエピソードがあれば教えてください。

博士課程の時にタトゥーの調査でタヒチの刑務所を訪問し、受刑者が犯した罪や自身の人生にまつわる話を聞いたことです。そこでは古いシェーバーに縫い針を付けた機械を使って、受刑者同士でタトゥーを彫っていました。受刑者から重い話を聞くこともあり、同時に調査者である自分自身を調べられている、試されていると感じました。

### 4. 先生が思う研究の魅力はなんですか？

研究すればするほどわからないことが増えるところですね。ある程度やると「ここがわかっていないな」というところがわかってきます。そしてまだ先に深みがあるんだとわかります。定期的に「もうわかったな」と思って一旦その研究から離れるんですが、別の人には会ったときなどにまたわかつてない部分を見つけて戻るんです。

実際に、タトゥーの研究でずっと分析をしてきたけれど、最近になって模様 자체に向き合っていなかったことに気づき、ある一面を見ていて別の重要な面について実はきちんと考察ができていなかったということがありました。その時は衝撃的でしたね。そうしていつまでも好きなテーマや好きな人たちに会わることが嬉しいです。

### 5. 最近あったいいことは何ですか？

受け持っているゼミの4年生の論文が良かったことです。

あとは研究が楽しいことと、

家族で焼肉を食べに行ったことです。



### 6. 趣味や好きなことは何ですか？

コロナ前は息子と一緒に楽しく空手をしていましたが、やめてしまって、息子はもう戻らないと言っているので私一人で戻ろうか迷っています。夏休みは息子と一緒に釣りや虫取りをしていました。趣味は研究ですかね。

## 7. 金城生に紹介したい一押しの本は何ですか？

『ラウンド・アバウト』という若手人類学者が書いているフィールド体験記と、レヴィ・ストロースの『悲しき熱帯』は、文化人類学を専門としていない学生さんにもおすすめです。「違う文化を持っていて面白い」で終わってしまわないところが体験記の特徴です。異文化に触れた時の違和感は今後の研究の核となります。自分と異なる文化に触れる時のドキドキ感や葛藤に触れてもらえると嬉しいです。

## 8. 金城生へのメッセージをお願いします！

異なる文化に興味を持ってほしいですね。いろんな人や文化に出会っていくなかで、きっと皆さんの世界を広げるような出会いにつながっていくと思うので、積極的に扉を開いて関わってみてください。



☆インタビューを終えて☆

普段ゼミでご指導頂いている桑原先生にインタビューができたことをとても嬉しく思います。いつもは自分の研究に関することについてお話しすることが多いので、先生ご自身の研究のお話やご家族とのエピソードをお聞きできたのが新鮮でした。このインタビューを通して、先生との距離感がぐっと近づいたと感じました。

(たまみ)

自分が今まで触れることのなかった、他国の文化研究やフィールドワークの詳しいお話を伺うことができてとても勉強になりました。特に入れ墨に関するお話は、自分の入れ墨へのイメージを変えるような内容で非常に興味深かったです。貴重なお話をありがとうございました！

(山本紡)

\* \* \* 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵）\* \* \*

『ラウンド・アバウト』 請求記号：389/Ka37

『悲しき熱帯 上・下』 請求記号：389/L575/5(1)・(2)

